

交流会



平成 28 年 12 月に平成 29 年度「ゆめの木教室」新体制について、保護者とスタッフで意見交換を行いました。（以下一部抜粋）



粹)

保護者 「中学生の支援はどのように変わりますか。」

スタッフ 「子どもたちの多くはゆめの木教室に来て学習しているので、家ではやらなくてもいいと思っています。中学生の場合、ゆめの木教室に居る時間帯は5時過ぎに来て6時に帰るのが現状です。今後中学生の支援は、やる気があり、希望する高校に向けて真剣に学習に取り組みたいと考えている子のみ個別の対応をしていきたいです。中学校の日々の課題（漢字、計算、英語の宿題）は自分でやり、本当に分からない問題をゆめの木教室でできるようになりたいと考えている子を受け入れたいです。」

保護者 「ゆめの木教室への通室日数が減ると、宿題が全部提出できなくなったり、もっと学習についていけなくなってしまわないか心配です。」

スタッフ 「低学年の子には、スタッフがあれもこれも世話を焼いて宿題を出すように支援してもいいが、小学校の高学年や中学生になるとそれではいけない。中学では自分でやるべきことを考え、優先順位をつけて、自ら学習に取り組む力が必要となります。今の中学生はゆめの木教室に来て、今日は何やる？とスタッフに尋ねます。本来は自分でやれるところまでやり、分からなかった点について、これを教えてほしいというような姿勢でなければならないと思います。
これまでもできるところは自分たちでやり、できないところをゆめの木教室で教えてもらうという学習支援を理想として小学校の低学年から支援をしてきましたが、まだまだできていないように感じています。」

保護者 「新しい支援体制はまだどうなるか分からないので少し不安だが、もっと支援が必要な子を受け入れる必要があることは理解できます。」

保護者 「ゆめの木教室が始まった17年前から自分の子どもたち3人を順番に通わせてきました。家では学習の仕方について全く教えませんでした。きちんと学習する習慣がついたのは、ゆめの木教室で教えてもらったからだと思います。2番目の子は何度もゆめの木教室をやめたいと言って週1回しか来なかった時期もありますが、今は親が何も言わなくても自分から家で学習をするようになっています。」

スタッフ 「小学校で学習について特に問題ないと言われていても、中学校に入ると学習についていけず、成績が急に下がる子が多いです。子どもたちはもっと成績の悪い子がいるから大丈夫だと下を見るが、子どもたちにはもっと上を見てほしい。塾に行くとみんなが上を目指し学習しているため、自分もより高い目標に向かうことができます。他の子たちがどれだけ勉強しているか見て、刺激を受けてほしいです。」

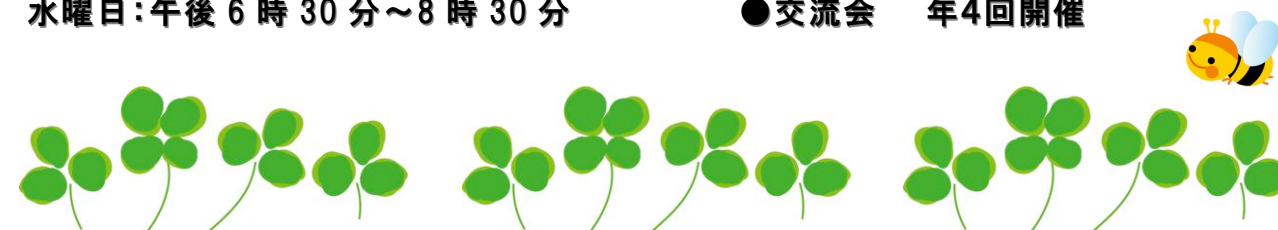
子どもの国 だより

2017年6月発行 Vol.36



- 放課後学習支援事業「ゆめの木教室」
小中学生：月曜日～金曜日 午後2時～6時
- 青少年の自立支援事業「そら」
水曜日：午後6時30分～8時30分

- 青少年の健全育成のための事業
問題を抱えた子どもとその家族に対し
随時相談・援助を行なう
- 交流会 年4回開催





ゆめの木教室

「ゆめの木教室」ではスタッフ間で子どもの様子を共有するため、毎日メールで報告を行っています。

- ・ 1年A: あ行の読み書きの練習をしました。
- ・ 2年B: 宿題のみ終わりました。時刻の経過に苦労しています。
- ・ 3年C: 漢字は細かいところまで気をつけて四角い字を書くことができます。
- ・ 3年D: 算数2年の復習「はこの形」それぞれの名前(辺、面などの用語、数など)わかっていません。
- ・ 4年E: 分度器を使って、180度より大きな角を測ったり、書いたりすることができませんでした。
- ・ 4年F: 初めはなかなか集中してできませんでした。あとは頑張れました。
- ・ 4年J: 3年算数の復習プリントをやりましたが、7割程度は正しくできていました。
- ・ 5年H: 算数プリントの直しがしてありません。計算スキルは自分で○つけまでします。
- ・ 5年I: 熟語の漢字を一文字ずつまとめて書いていたので(経路だったら、経○径○径○・・・)正しい漢字練習の仕方を教えました。
- ・ 6年G: 線対象、点対称をスタッフに教えてもらいほぼわかるようになっていました。
- ・ 6年K: 分数は全く学習していないようで、通分するための公倍数から教えるのはいけません。その途中の九九の間違ひも多いです。
- ・ 6年L: 二桁の数で割る筆算の割り算は、横でかけ算をして解いているようです。九九は、少しずつ定着し始めています。



「ゆめの木教室」新体制



これまで17年間「ゆめの木教室」を実施し、効果があったこともあれば、毎日教室をひらくことによるマイナス面も出てきています。マイナス面の1つ目は「ゆめの木教室」で教えてもらうからといって学校の大切な授業を真剣に聞かない子がいること。2つ目は家で全く学習をしようしない子がいること。3つ目は長年「ゆめの木教室」に通いながら、宿題の習慣付けさえできなかった子がいること。4つ目は子どもたちが自分で考えようよせず、答えだけを知りたがるケースが多いことです。

平成28年度は新たに外国からの編入する子どもたちが多く、「ことばの教室」から復帰したばかりで支援が必要な子どもがたくさんいます。そういった支援が必要な子どもたちも受け入れたいと思っています。今後の体制として、より多くの子どもたちを受け入れるため、曜日別の通室を実施することになりました。小学1,2年生は学習の習慣付けをしっかりとするためこれまで同様毎日、小学3,4年生は週4回、小学5,6年生は週3回、中学生に関しては個別に相談して決めたいと思っています。



そら

平成28年度の「そら」は、月に1回程度青少年が集まり、育児の話や学校の学習の話など様々な情報交換をしています。

「そら」の青少年の子どもたちや中学生が宿題や課題をがんばってこなす姿も見られます。

Rちゃん、丁寧な字で漢字練習をしています。



平成28年度「ゆめの木教室」卒業生

平成29年3月「ゆめの木教室」から7名の子どもたち(小学生4名、中学生3名)がそれぞれ小学校・中学校を卒業しました。

勉強と部活をがんばりたいです。
小6年H



高校に行ってもがんばりたいです。花をありがとうございます。
中3年V

長い間大変お世話になりました。これからもがんばっていきたいです。大学4年Y



去年まで「ゆめの木教室」で一生懸命学習をしていたVさんが「ゆめの木教室」でボランティア体験をしました。

～感想～【ボランティアをしてみて気づいたこと】

- ☑ 6年生の子でも日本語があまり読めない子がいる。
- ☑ 子どもがやる気ができるような言葉かけが大切だと気付いた。
- ☑ 「やらなければいけない」を「やりたいからやっている」に変えることができれば、勉強の面白さが分かる。
- ☑ どうして勉強が大切か分かっていない子が多い。

